

記事活用実践例学ぶ

敦賀で教員研修3小中が報告



小中学校教諭らを対象にした「新聞を活用した教育研修会」が19日、敦賀市栗野公民館で開かれた。県内のNIE（教育に新聞を）実践指定校による事例報告とワークショップが行われ、言語力向上や「社会とつながる教育」に役立つNIEの実践方法について理解を深めた。

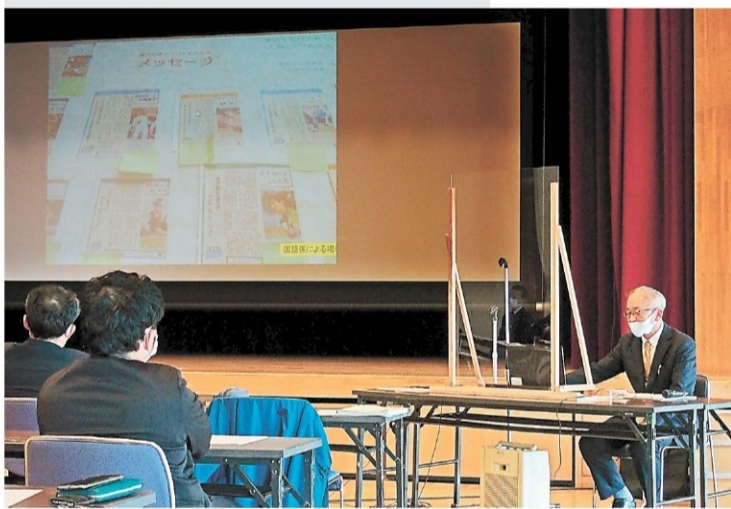
県教委が開いており、10回目。県NIE教育研究会が協力した。嶺南の約30人が参加した。実践指定校2年目の福井市麻生津小、坂井市雄島小、小浜二中が取り組みを報告。新型コロナウイルス感染症防止のため、麻生津小と雄島小は動画での紹介とな

った。

小浜二中の西川洋人教諭は、NIEに取り組み目的として、生徒の「学ぼうとする力」と「課題解決力」の育成を挙げ「短期間ではなく持続可能なNIEを目標としている」と話した。実践例として、地域の魅力を紹介する新聞作りやコラム視写、医療従事者らについての記事を読んで感謝のメッセージを書き、当事者に伝える活動を紹介した。

雄島小の渡邊千恵教諭は自動車に関する記事を使った社会の授業を紹介し「社会とつながる身近な題材から、語彙力や発信力の育成など、活用法を今後も探りたい」とした。麻生津小の谷口慎也教諭は「いつでもどこでも、手軽に」をテーマに取り組んでいるとし、今年には校外でなく校内のこ

教育への新聞活用法を教員らが学んだ研修会＝19日、敦賀市栗野公民館



とを題材にした新聞作りを行ったと説明した。読解力を高める実践方法や新聞を使った地域学習について学ぶワークショップも行われた。参加した片山涼子教諭（高浜町内浦中）

は「いろいろな実践方法を知ることができた。できることから取り入れていきたい」と話した。

（大西崇弘）